

米国イリノイ州における分散型太陽光発電事業への参画について

2022年9月1日
大阪ガス株式会社
Osaka Gas USA Corporation

大阪ガス株式会社(代表取締役社長:藤原 正隆)の100%子会社であるOsaka Gas USA Corporation(社長:岡本 素直、以下「OGUSA」)は、米国の分散型太陽光発電*¹開発事業者であるSummit Ridge Energy, LLC(以下「SRE」)と、分散型太陽光発電事業の共同実施に関する契約を8月31日に締結しました。

今後、同社との合弁会社が、SREが米国イリノイ州で新たに開発する分散型の太陽光発電所を取得し、長期間にわたり運営を行う予定です。

なお、本合弁会社はイリノイ州の再生可能エネルギー(以下「再エネ」)支援制度であるコミュニティソーラー制度の適用を受けて太陽光発電事業を運営します。具体的には、発電した電力全量を送配電事業者へ供給し、その対価として得られる電力クレジットを家庭用もしくは業務用・工業用顧客へ販売*²することで収入を得ます。

SREは、米国北東部を中心に20万kWを超える開発実績を持つ分散型太陽光発電の開発事業者であり、2017年の創業以来、順調に事業を拡大しています。

当社は既に、2021年6月からメイン州においてSREと分散型太陽光発電事業の共同実施に取り組んでおり*³、これまでにSREが開発した太陽光発電所を累計5.6万kW*⁴以上取得しています。イリノイ州では州独自の再エネ調達計画を策定するなど、再エネの普及拡大を促進しており、今後分散型太陽光発電所の開発加速も見込まれています。当社は同州においてもSREと協業することで、米国における再エネ事業のさらなる拡大を目指します。

OGUSAは米国エネルギー事業において、フリーポートLNG液化事業、シェールガス開発事業、発電事業を3本の柱として位置づけています。

発電事業においては、天然ガス火力発電事業に加え、再エネ事業に参画することで、低・脱炭素社会の実現に貢献します。

Daigasグループは2050年のカーボンニュートラル実現を目指し、2030年度までに、自社開発や保有に加えて他社からの調達も含めて、国内外で500万kWの再エネ電源の普及を目指しており、今後も再エネの普及拡大を進めることで、低・脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

*1:大規模集中型の太陽光発電設備とは異なり、需要家エリアに近接して分散設置される比較的小規模な太陽光発電設備

*2:顧客は、消費電力から電力クレジット分を除く電気代を送配電事業者へ支払う

*3:2021年6月28日「米国メイン州における分散型太陽光発電事業への参画について」で公表済

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2021/1296246_46443.html

*4:2022年8月31日時点。合弁会社が取得した太陽光発電所の内、当社出資比率相当量。

(別紙)

1. 本事業のスキームおよび位置概要

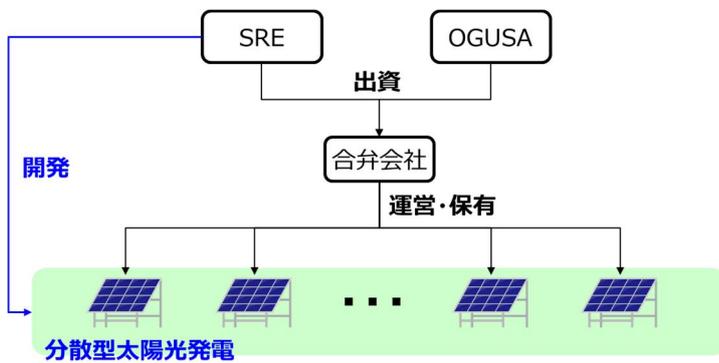


図1 本事業のスキーム



図2 イリノイ州の位置

2. SRE の概要

会社名	Summit Ridge Energy, LLC
所在地	バージニア州アーリントン
代表者	Steve Raeder
創立	2017年
主な事業内容	分散型太陽光発電所の開発など

以上